

本来でしたら季節の移り変わりを感じる頃だと思いますが、日本では依然として厳しい残暑が続いているようで、体調を整えることが難しい方々が多いんじゃないでしょうか。また世界各地での自然災害等により、この世は大きな試練の只中にあります。弱さや困難に遭遇しておられる方々の上に主のお支えと助けを切にお祈りしております。

世の中は厳しい状況ではありますが、私は先週、夏季休暇を頂き非日常的な時を過ごすことが許され、主との深い交わりの時を持つことが叶いました。2025年3月には日本に本帰国する予定ですので、今後の教会のことや私自身のことについて祈り求めている最中ですが、堂々巡りを繰り返すばかりでした。しかし主との語らいの中で、これまでの思考を一端停止することができ、頭を空っぽにできたことは幸いでした。

教会に関することは、主が明確に新しい道を開いてくださっていますが、私自身については、ドイツをはじめとして欧州で見聞きしたことや、経験させて頂いたことを、今後主がどのように用いてくださるのか、具体的に示されていません。しかし、必ず最善へと導いてくださると信じて期待しています。休暇の最終日に与えられた御言葉です。「沈黙して主に向かい、主を待ち焦がれよ。」(詩編37編7節)

さて、ケルンには私たちのような外国の教会が70あまり存在しますが、これらの教会を統括しておられる先生(在独韓国人二世)が、先月、私たちの礼拝においでくださり、その後充実したお交わりの時を持つことができました。同じアジア人であるということ、また私たちの教会の韓国人のご夫妻との韓国語での交わりで距離感が近くなりました。「困ったことがあったら何でも相談ください」と、仰って頂き心強く思ったと同時に、このような主にある愛の配慮に私たちもお応えしてゆきたいと思われました。

収穫の秋に向けてそれぞれ置かれたところで、み言葉の種を蒔き続けて参りましょう！
「愛する者よ、あなたの魂が恵まれているように、あなたがすべての面で恵まれ、健康であるようにと祈っています。」(ヨハネの手紙三:2)

「支える会」のホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすかったですので、是非ご覧ください。<http://www.komatsugawa-ch.com/Pfarrerin-Ryokosasaki/mailmagazine.html>



教会に訪問くださったリー先生と奥様↑
礼拝後、楽しい歓談！



森の中はブルーベリーの宝庫
無心にひたすらベリーを摘んだ後、
牧師のお友だちがジャムを作ってく
ださり、教会の方々へのお土産とな
りました。

大自然の中で、おもいきり天地
創造の主を褒め称えました。

